

## 第3回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和3年8月5日(木) 18:00~19:54 (所要時間=1時54分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委員】 19名

【事務局】 7名 教育次長、指導参事  
学務課：課長、副審議監、課長補佐、総務係、学校教育係

○傍聴者 4名 (男性2名、女性2名)

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 報告事項

・アンケート調査の結果について

事務局 「アンケート調査の結果について」事務局より説明

会長 アンケート調査の結果は、保護者の方に周知されていますか。

事務局 取りまとめたばかりで、周知はしていません。

会長 保護者の方にこの結果を周知する予定はありますか。

事務局 第3回の統合準備委員会の会議記録を市ホームページに公表する際に併せて掲載しますので、これにより周知を図ることとしております。

会長 アンケートの回収率が高いことは、それだけ関心があるということなので、この結果は、是非フィードバックすべきだと思いますし、市ホームページだけではなく、様々な手法で周知すべきだと思います。

アンケート調査の結果については、皆さんも事前に読んでいただいていると思いますが、アンケート結果を読み進めていくと、それぞれの心配事など率直な意見を記載いただいている、統合に向けては大変だなと感じる部分もありますが、設問内容で「期待していること何ですか」等の回答を見ますと、やはり統合を進めるべきだと私自身感じています。統合については、いろいろなご意見もあると思いますが、期待もあれば不安もあるという率直で大切な意見ですので、今後、

いろいろ決めていく中で、一つひとつ払拭していけば良い統合になると感じました。皆さん、これに関してご意見ありますか。

委員 フィードバックの件は、私も思っていました、最後の自由記載の部分で、結構切実な質問や要望等が記載されていますので、一つひとつに対して真摯に回答したものを載せてフィードバックしていただきたいと思います。

このようなアンケートに意見を頂くことは貴重だと思いますし、きちんと回答することで、今後、別なアンケート等に対しても積極的に参加していただけるものだと思いますので是非検討願います。

委員 私もアンケート結果について、一つひとつ回答していただきたいと思います。回答時期についても遅くなるようであれば、それなりの連絡を保護者等にさせていただくと安心されると思います。

事務局 統合準備委員会で協議していただく部分もありますし、回答が整い次第フィードバックするような形で考えていきたいと思います。

会長 制服の買い替えなど、いろいろありますし、予算的な部分もあるのですぐに回答できずに追ってということになると思いますが、回答は必ず出していただくような形になると思います。これに関して他よろしいですか。なければ、報告事項はこれで締めさせていただきます。

続いて協議事項に移らせていただきます。「学校生活に関する事項について」、「スクールバスの運行について」ということで2点あります。まず1点目の「学校生活に関する事項について」、事務局のほうから説明をお願いいたします。

#### 4. 協議事項

- ・学校生活に関する事項について
- ・スクールバスの運行について

事務局 「学校生活に関する事項について」事務局より説明

会長 この件については、今日結論が出ないかもしれませんが、事務局の案が出てきました。また、最後のページに義務教育学校の開校に向けた協議として、制服・ジャージ、その他指定学用品については、今年度から協議されるということで、それだけ切迫していると感じております。まずは中学校ということで、フリーターキングでいきたいと思います。

委員 事務局には、今回、いろいろ資料を作っていただいています、事務局というのは教育委員会の事務局なのか、この委員会の事務局なのか、どちらかわかりませんでした。と言うのも、統合委員会でこれまで話してきた中では、生徒の意見を聞きながら取り進めるというような意見もたくさん出ていたと思いますが、そのことは触れられずに砂川中学校に合わせるということでまとめられています。私は、毎回発言するたびに、砂川中学校に単純に合わせるのではなく、もっと一

生懸命考えましょうよということを書いてきたつもりでしたが、この辺はどうでしょうか。教育委員会としては、こういう方向が良いという考えなのでしょうか。

特に制服・ジャージについては、今まで一度も議論していませんが、いきなりこのような案が出てきました。正直今回のアンケートでも「私服にしたほうがいいのではないか」という意見もありますし、「ジャージ登校を続けてほしい」という意見もありました。その辺も全然議論がなくて、このように案が出てくるということは、この委員会の事務局が、たたき台として案を出すけど、ゼロから話し合いをするという意味でいいのでしょうか。

事務局

まず事務局の話でございますが、基本的には事務局は1つ、教育委員会の事務局ということになります。準備委員会の事務局としての役割も含め教育委員会事務局は1つということになります。それと、今回の協議事項は、それぞれ教育委員会事務局の案ということでお示しをさせていただいておりますが、先ほど会長からもありましたとおり、本日全てを決定するというものではございません。当然、前回皆様から生徒たち又は保護者の意見を取り入れるようにというご意見もございましたので、議論には、そのような動きを作っていきたいと考えております。

今回の案につきましては、アンケート調査の結果の意見を踏まえ、一定の考え方をもってたたき台ということでお示ししております。決してこのようにして欲しいということではなく、何かしら皆様がこれから議論をするうえで、こういった1つの目安となるものをお示しすることで議論の進行を図っていきたくするものでございますので、ご理解いただければと思います。

委員

教育委員会としての案ということですので、この後、この委員皆さんでいろいろ相談していくということで良いかと思いますが、アンケート結果を踏まえてということでしたが、子どもたちに「統合したとき何か不安なことはありますか」と聞いたときに、「校章がどうなるか不安です」と答える人は絶対いないと思います。ですので、アンケート結果に意見がなかったからみんな賛成しているとはならないだろうと思いますし、その辺も含めて皆さんで協議していければいいと思います。

校歌、校章、校旗、校名については、変更されることに対して抵抗があるのかどうか、子どもたちの意見を踏まえるため、生徒会くらいでいいのかもしれないと思いますが、まずは聞いたほうが良いのかなと私は思います。そのうえで、子どもたちにこだわりのないのであれば、基本的な考えとしては砂川中学校のものを使うことでいいのかもしれませんが、その場合でも、前回の話でもあったように、校歌を1つに絞る必要があるのかどうか、2つあっても良いのではないかという話がありましたし、その辺について任せていただければ、校旗とか校章に関しては、一定程度ここでの議論がされていけば両中学校に任せていただいて、素案を作ってもう一度出させていただくのが良いのかと考えております。

あと、教育目標、目指す生徒像については、ある程度学校のほうでまとめるものと思いますが、今回のアンケート結果でも「うまく馴染めるかな」のような不安材料が挙げられていましたので、それらを考慮した教育目標を作っていただければと思います。

また、「目指す生徒像」とありますが、生徒それぞれの個性に合わせてどんどん伸ばしていくのが目指す生徒像だと思いますが、1つの形にあてはめてこういう生徒にしたいということにこだわる必要はないものと思います。

これは個人的な意見となりますが、校則については、両中学校で生徒の意見を

聞いて決めればいいと思いますが、制服・ジャージについては、「廃止した方がいい」など様々な意見もありますので、どのように意見を聞いて決めていくのがいいのか、その辺も含めて委員の皆さんで協議いただけたらいいなと思います。

#### 委員

事務局のほうから、アンケート結果を踏まえたうえで統合の在り方について原案を示されたと思いますが、私の立場として話をすると、アンケート調査については、確かに校名などに関する設問はありませんでしたが、事務局としての提案に賛成したいと考えております。特に強く感じたのが、以前この会議の中でアンケート調査の取り方について協議し、統計的なものも拾えるように改善したうえでアンケートを取りましたが、そこから見えてきたことというのが、漠然と統合に対しての期待や不安を持っているお子さんや保護者がいるということです。その数が多いか少ないかは今は置いておいて、その中で我々が一番時間を割かなければならないのは何なのかということを考えたときに、このアンケート結果を見て、私は石山中学校の生徒と砂川中学校の生徒が令和5年4月に一緒になることは決まっていることなので、そこに不安に思っている生徒や保護者の数を統合するまでの期間にどれだけ減らせるか、そこにどれだけ議論の時間を割くか、ということがこの後の時間の使い方としては最も大事だと思います。

先ほど事務局の提案ということで、基本的には、砂川中学校に石山中学校を統合する提案だと私は認識しております。そうなりますと、砂川中学校に統合をするということになります。

当面、先ほども話にありましたが、3年間でまた学校をなくすということは、現実問題、砂川中学校としては体力的には持たないと思います。と言うのは、統合というのは、統合をする、されるは抜きにして、いずれの学校も、職員、子どもたち、保護者が通常の業務以外のことを行っていかなければならないと思います。この前も少しお話しさせていただきましたが、砂川中学校と石山中学校を統合して新しい中学校を作るとなったときには、砂川中学校も閉校の準備をしなければいけないし、統合に向けて開校の準備もしなければいけない。でも、それが形として残るのは3年間となります。ですので、その3年間のために労力を割くことよりも、今は、形としては、皆さんの立場がありますので全員が同意ということにはならないかもしれませんが、これから先のシナリオを見据えたうえで、100%賛成ではないけれども「そういうふうにするしかないかな」とか「そういうふうにするのがいいよね」とか、時間の使い方をここにしていこうよというような形で決めていただいたうえで、先ほど学校の中で任される部分については、早く動いたほうが、私は子どもたちや保護者にとっては良い時間の使い方ではないかと思います。ですので、ここでいつまでも「制服どうする？」というのは結局、砂川中学校と石山中学校が対等に統合する場合については、制服をなくすとか、制服のデザインを変えとか、そのような議論が発生してきますが、砂川中学校に統合するとなると、学校はそのまま継続するので制服についても今ここで砂中の制服を変えるという議論にはならないと思います。ということから、私としては、砂川中学校の今後3年間の様々なことを含めたうえで事務局としての提案に賛成をし、やるべきこととしては、この後どういった形で決めていかなければならない様々なことをどの場で決めるのかというのを確認していただいて、例えば、この場の中で部会を作って協議する、でも正直なところ、学校のほうにいろいろ任せてもらって「このことは学校で検討してください」と言ってもらったほうが、この後動きやすいかなと考えております。

繰り返しになりますが、令和5年4月には統合校がスタートします。その中で不安に思っている生徒74名、今回の小学校5年生から中学校1年生までの回答で

すけれども、少なくとも74名の子どもたちがそう回答しているので、この74名が「早く統合したいな」「統合楽しみだな」と言ってもらえるための時間の使い方をしていたらいいなと思っております。

委員

ただ今の委員のお話で、最後の部分の『「不安に思っている子どもたちに対してどういうふうに解消していくのか」というところに時間を使いたい』という部分にとっても共感を覚えました。ただ、前段の「基本的には令和5年に統合になるというのは動かしようのない決定事項」というのは、もちろんそうですが、アンケート調査の中でも少し記載がありました。その決定に対して少し不安を持っていらっしゃる方もいて、物理的に考えると、時間がないのでスムーズに進めなければいけないというのは確かです。そうしていくべきだと思いますが、時間がないことを理由に、この進め方でなければいけないということはしたくないというのが私の考えで、それを理由にすると「じゃあどうして1年前倒しにしたのでしょうか」という話が出てくると思います。

基本的な私の考えとしては、例えば校名については、砂川中学校になるということはお話しさせていただいて、それが一番スムーズだと思っています。ただ、校歌ですとか、教育目標などというのは私もどのように合わせていったらいいのかわかりませんが、校旗・校歌などが2つあってもいいのではないかと思います。もし、そのことが可能であれば、校則は両校で話し合って決めていただくとして、校章・校旗・校歌、制服・ジャージ等すべて両立できるのであれば、例えば砂川中学校に入学予定でも石山の制服を選びたかったという選択ができる余地があればそちらのほうが上手くいくのではないかと思います。

不安になる部分としてのジャージ登校・制服登校諸々含めて、本人の希望に沿っていけるのであればそちらのほうが不満も出ないのかなと、個人的に感じていますので、物理的・現実的にそれは無理ということであれば教えていただきたいのですが、検討の一つとして申したいと思っております。

委員

それぞれの立場で準備することや期間など、見えてない部分があるので、なかなかその苦勞を計り知れないところがありますが、基本的にはこれからの3年間をどうするかということが、皆さんに知ってもらわなきゃならないものだという気がします。中学校は、統合しても3年間で閉校になることを皆さんがどう受け止めるかで論点が変わると思います。

それこそ、校旗・校章・校歌2つを3年間併用してもいいのではないかと思いますし、制服・ジャージ等についても、3年間は自由でいいと思います。その間に5年後をどうするかということをしっかり検討していけばいいと思います。もしどちらかの学校に合わせようとする、必ず制服の買い替えが必要な子どもたちがいますし、経済的な負担に対する不安も当然あるでしょうし、検討材料の中には制服に対する支援というような前提がなければいけないと思いますが、その辺は事務局に確認したいと思います。

さらには、今の小学校4年生以上が義務教育学校になったときに、校則上途中から制服がなくなるかもしれませんが、そうすると買った制服が無駄になる可能性もあるため、そういう年代に対してもしっかりと市として支援をするということが大前提として、まずそれが約束された状態の中で議論をすべきだと思いますが、その辺確認させていただきたいと思います。

委員

今回、事務局のほうから学校生活に関する事項ということで、たたき台を作ってくださいました。私は、全面的にこの方向で進んでいただきたいなと思ってい

ます。実際に今後1年半の間に何をしなければいけなくて、いつまでにそれをしなければいけないかという話を学校長としましたが、例えば制服について話をするときには、11月にはもう進めていかなければいけませんので、各学校でアンケートを取るといことになると9月には、ある程度まとまっていなければいけないということになります。また、それぞれの学校の教科書の関係や共通のドリルや教材の用意など、考えるだけできりがなほど教職員の皆様に負担を強いることが起こってきます。この話を聞いたときに、いかに教職員の実務を減らして子どもたちに向ける時間を増やすかということが、先ほど発言があった「不安を減らす」ことにつながるものと思います。

それぞれ思いをぶつける場でありますので、忌憚のない意見というのは大事だと思いますし、私の意見もそのように受け止めていただければと思っております。ここに集まっていたいただいている皆様は、子どもたちが統合後にいかに幸せに思ってもらえるかということがこの会議でやった実績になると思っておりますので、ぜひ子どもたちにかかる時間・思いを維持していただけたらと強く思います。

会長 先ほど2名の委員から部会の話がありました。この件については、どこかでもっと煮詰めなきゃいけない部分があると思いますので、「部会」を設置することがもし可能なのであれば、この場である程度概略を報告してもらおうような場として、部会の設置というのも良い方法だと思うのですが、その辺事務局いかがでしょうか。

事務局 協議事項として、本日事務局のほうから一つの考え方にご提示をさせていただいておりますが、先ほどご提案ありました、人数を絞った部会での協議という部分は、要綱上ここで皆さん了承していただければそのような形で進めていただくことは可能です。まずは部会の設置について、この場でお諮りをしていただければということと、部会のメンバーについてもお諮りをしていただければと思います。

委員 部会の良さというのは、ある程度人数を絞った中でより深い議論をしながら合意形成を図っていくということですのでごく良い手法だと思いますが、1人の人が1つの部会ということになると、複数の部会を設置した場合、それぞれに対して意見を持っている方の意見を反映しづらいというデメリットもあろうかと思っておりますので、その辺り、例えば、幾つかに参加できる仕組みを作っていただければ部会を設置して、その中で深く議論を進めていくのが良いのかなと思います。

委員 部会の話も出ましたけども、先ほどの発言を聞いて、決めることを少しでも少なくしていったって、スムーズに子どもの不安を取り除くということは本当に大事だと思っております。部会については、どれだけいろいろな議論を重ねても、結局どこまでのことを決められるのかというのが決まっていな中では難しいと思っておりますので、ある程度教育委員会と対象となる中学校2校とで、いろいろとグランドデザインなどをしっかり話し合っていないと進めていけないと感じております。

また、先ほど時間の話もありましたし、対象の地域の中学校の方は本当に大変だと思います。やはりスムーズに進めていくということに時間を割いていくことが一番大事ではないかと思っております。ジャージの問題とか保護者にとってはすごく重要なことかもしれないですし、例えば義務教育学校の開校に向けた目安が出ていたと思っておりますが、これも、統合した後に生徒の皆でここに向かっていくのだと

いうことを保護者に説明していくことも大事だと思いました。

あとは個別の話になりますが、義務教育学校に関して、制服・ジャージの協議を令和3年からやっていくという目安ですが、これも結局のところ同じような議論になって学校等のイメージが見えない中、制服・ジャージを先に決めるという議論すら無謀だと思うので、その辺も、義務教育学校のグランドデザインがちゃんと見えないと、この辺だってすぐに話し合おうといってもなかなか話し合えないと思います。

委員

今の話と重なる部分があると思いますが、そもそも学校が統合するときは、学校同士で話し合っただけで進めていくもので、教育委員会や学校が決めることというのはかなり多くあります。今回示されている部分でも本来であれば学校が決めていく部分ではありますが、それをアンケートとか、このようにいろいろな意見を聞く場とかを設けながら進めているのはなぜかといいますと、この先に控えている義務教育学校に向けてという部分もありますが、砂川の今の子どもたちができるだけ、統合して幸せな形になるように、不安がない形で統合を迎えられるように、もう少し言うと統合して良かったな、あるいは逆に言うと統合することの不安が少しでも少なくなるようにということで、いろいろな意見を聞きながら統合を迎えていきたい、その意見を聞く場なのかなと思っています。

ですので、先ほどあった部会の話、本来であれば学校同士で相談して決めていく部分を「部会」という形で両中学校校長・PTA会長あたりが部会の構成となって、この会の部会ということで話し合った中身をこの場に返すことで、改めて皆さんからいろいろな意見を頂き、よりよいものを目指していくといいますが、よりよい形の統合になっていくように、お知恵を頂くという流れで進んでいくのがいいのかなと私は考えています。

そういう意味で、まずは中学校の統合についての、学校生活に関する事項に記載されている部分を、中学校の方で部会ということで協議していただくことが、私としては、いろいろな意見を踏まえながら進めていく統合に向けた丁寧な進め方だと思いますので、代表としてPTA会長が参加していますが、生徒であったり、その他役員であったり、PTA会員の皆さん、それぞれの意見がある程度まとめながら、できるだけ皆さんが納得してもらえるような話し合いの進め方の中で、統合に進んでいきたいと考えております。部会の中で小回りの利くような対応を進めさせてもらいながら、部会の中で話を進めそれをこの場に返して、さらに皆さんからご意見を頂くことが形としてはできる限り丁寧なところ近づいているのではないかなと思っていますので、できればそういった形を取らせてもらえればと考えております。

委員

部会の話ですが、統合準備委員会の担いと言いますか、何をこの委員会で決めてどこまでするかというのが決まっていなくてずっと似たような話が進んでいるのかなと思うので、部会を立てるのであれば、何をいつまでに決めるということを提示していただかなければ、ずっと同じ話になってしまうのかなと思っています。時間がないと言っているのに、部会を作って時間をかけるのは理解しにくいのですが、そこの提示をまずはさせていただいてから部会を作っていただくのがいいのではないかなと思います。

会長

義務教育学校に向けてのことは置いておいて、まずは、中学校の学校生活に関する事項という形の部会に関しては、設置はよろしいですよ。これに関わるのは、両中学校の校長、両中学校のPTA会長の4人という形でよろしいですかね。

それで、基本的には、校名・校歌等決められるものはそちらでお話をいただいた中で決定していただいて、それを報告していただける形になるのではないかと思いますので、迅速に進めていただければと思います。

あとは、今後どのような部会ができるか、できないかわかりませんので、その辺柔軟に対応していけばいいかなと思います。とりあえず皆さんに、学校生活に関する事項に関する部会を設置させていただいて、その報告を受けるということで了解いただきたいと思いますが、その辺よろしいでしょうか。一応4名という形でやらせていただきますので、部会についてよろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、令和8年度から始まる義務教育学校のグランドデザインなどについて一般の皆さんに周知するのと、まず義務教育学校とは何かという部分ですが、近隣の町でも義務教育学校を実際にやられていますので、多分言葉としては皆さんもなんとなく知っていると思ひます。ですから、見本になる学校も身近にあるので、いろいろ調べていただいて資料なども提示していただけることができると思ひますが、私たちがそれを議論する必要があるかというのは別になるかもしれせんけども、その辺に関して事務局として何か意見ありますか。

事務局

義務教育学校の関係でグランドデザインのお話も出ましたが、実際義務教育学校の形態ですとか特徴については事務局のほうでもしっかり把握はしております。グランドデザインについては、教育目標や目指す児童生徒像など、それぞれの学校で作っている現状がございますので、これから議論を進めながら決まってくるものと思っております。ただ、会長や他の委員からもありましたが、どうしても義務教育学校が新しい学校種としてあまり一般的に認知されていないということも想定されますので、そういった意味で事務局としては、義務教育学校とは何かという点で一般保護者の方、生徒に分かりやすい形で発信していきたいと思ひます。

それと、先ほどからいくつか質問がありましたのでお答えをさせていただきたいと思ひますが、時間がない中でそれを理由に疎かな議論や、対応、対策は避けていただきたいという話がございます。もちろん事務局のほうでもその辺は肝に銘じて、後ろの時間は決まっておりますが、時間をかけるところはしっかりかけていき最大限努力をしたいと考えております。また、今回のアンケート調査の結果を見ますと、生徒・保護者共に不安に思うとする回答が、人間関係に多く集中していますが、それに対して期待していること、そこに私どもとしての答えのヒントがあるのではないかと思ひています。回答の多くで人間関係が不安に思っている一方で、期待していることや、やってほしいという部分で交流事業としております。ですので、不安を解消するためには、交流事業が重要であると我々も認識しており、市教委としては、統合に向けての人事交流なども含めて最大限努めていこうと話を進めているところでございます。

その他、制服等に対する支援の話もございましたが、市教委としましては、部会での協議を含め制服・ジャージ等については、こういった支援がしてほしいということがございましたら、精査したうえで市議会に上程したいと考えております。あくまでも予算措置については、市議会の議決が必要でありますので、この場で約束はできませんが、そういった声を汲み取らせていただいたうえで何とか予算化に向けて努力させていただきたいと思ひます。

会長

皆さんよろしいですか。これに関しては部会の設置という形で一回締めさせていただきます。続いて2点目の「スクールバスに関して」です。



事務局 「スクールバスの運行について」事務局より説明

会長 まず確認ですが、確認事項として7つありますが、5番目の一般利用はしないことと、6番目の利用料金は無料とすることについては問題ないですね。この2点はこれで決まりですね。今日は1番目と2番目、「対象者」「停留所」になりますが、今日決定させるということではございません。皆さんの意見を頂く場面になりますので、まず検討課題1「乗車対象者」ということで石山中全生徒を対象にするのか、あるいは、対象となる距離を併記するのかということで、事務局が資料を大変細かく作っていただきました。一番早く家を出る子で7時の子がいますけども、富平地区が一番距離があるのだと思います。この辺含めて皆さん何かご意見等あればと思います。どんなことでもかまいません。乗車対象者ということでこういう案がありますがいかがでしょうか。

あとは、前回空知太小学校でバスを停めておくのはどうなのかということがあって、北地区コミュニティセンターが加わっていますが、どうなのでしょう。

委員 北地区コミュニティセンターは、場所的に駐車場もありますし、その前の道や路側帯もある程度広いところなので、場所としては問題ないし、距離としてもそこまで遠くなく、空知太小学校の前の細い道を使うよりはいいと個人的には思います。

ちなみに質問ですが、この資料は徒歩で想定をしている時間割となっていますが、現在、石山中学校では夏場は自転車通学となっており、自転車を使う想定をしているのかどうか、また、置く場所の確認ができていますのかお聞きします。

会長 自宅から停留所のある北地区コミュニティセンターまでということですか。

委員 はい、そうです。

事務局 夏場の自転車通学については、事務局としては想定しております。ただ、時間等シミュレーションするにあたりまして、まずは徒歩という部分でお示ししています。あと、場所につきましては、現地のほうも再度確認しながら自転車が置ける場所等を確認していきたいと思っております。

委員 ありがとうございます。あと、前回お願いしていた部分でもありますが、基本的にはこれで想定しているものとして、空知太小学校停留所か北地区コミュニティセンター停留所かということと、富平小学校跡地、石山中学校の停留所については、前回示していただいたものとなっていますが、前回、新しい制度でもあるのでできればその使い勝手というのを含めて、停留所についても小学校等の間だけではなく、もう少し細かく停留所のことを検討いただきたいということを申しました。停留所が細かくなりすぎると総通学時間が長くなるなど厳しいことは理解しますが、再度、検討いただけないか確認させていただきます。

事務局 事務局としては、最初にバスに乗る子の登校までの時間というのがございますので、ある程度、乗降にもよりますがその時間を問題としております。停留所が多くなると、バスに乗り込むための時間が重ねていったときにだんだん時間が長くなってしまいうということもございますので、ある程度停留所については絞らせて提示させていただいております。

実際に今回提示させていただいた停留所あるいはルートについては、事務局のほうで実際に車両を走らせて車の往来や交通量、バスレーンの有無などを含めて、子どもたちが安全にバスの乗降ができるかどうかいろいろと現場の確認をしてみました。

前回もお話しさせていただいていますが、この停留所だったら子どもたちの安全を確保して乗降し走行できるということと、時間的な部分でもそんなに長い時間バスに拘束されることはないようにということで今回のご提示をさせていただきました。ただ、今ほどのご意見については、もちろんそういうことがあると思いますので、今後についてもいろいろなご意見を参酌しながら、できる限り保護者の皆さんの理解を得られるよう最大限配慮したいと思っております。

停留所の関係では、実は空知太小学校はやはり厳しいと思っております。小学生のお子さんもいますので、そこでバスが出入りすることは厳しいかなというのもあり、北地区コミュニティセンターが近いので、そこ一つに絞ったほうがいいのかというのがあります。

ですので、会長からもありましたとおり、ここで全て決めるということではなくて、前回の協議を踏まえて今回このような提示をさせていただきましたが、本日のご意見から、次回改めていろいろと手を加えて提示したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員 今おっしゃっていたことについて、停留所を細かくすると、バスに最初に乗る子の乗っている時間が長くなるということでしたが、空知太東地区の子の家を出る時間が結構早いんです。

通学時間としては、バスに乗っている時間が長くなくても、家から出る時間が早く、歩いている時間が長くなるということもあるので、私個人としては、できるだけ細かいバスの停留所を希望しますということだけは伝えさせていただきます。

会長 北地区コミュニティセンターの停留所について、この辺の感覚はどうですか。

委員 この間、私のほうからも話させていただきましたが、義務教育学校に移る前は、空知太小学校としてはありますので学校の前でバスを停めるというのはどうなのかという考でしたが、北地区コミュニティセンターについては無難な線だと思います。

中学生が歩くことを想定しており、私の住んでいるあたりから歩いて5分くらいで学校に着くので、この距離感覚でいうとだいたい5分くらいで北地区コミュニティセンターまで来ることができると思います。

ただ、国道から東側だと学校まで10分くらいかかるかなと思いますので、私もやはり空知太東に停留所がもう1か所欲しいなと思っております。資料の中で家を出てくる時間帯として、7:10、7:15がありますが、それを考えるとやはり空知太東のほうから北地区コミュニティセンターまで来るとなると、時間はかかるのかなと思いますので停留所は欲しいなと考えます。

委員 北光小付近の地区としては、前回の提示と変わらないので特にはないですが、私も資料を見たときに空知太小学校にバスを停めることができるのかと思っていたのと、別な場所にもう1か所停留所が欲しいなと考えていました。

あと検討課題1のほうは誰も触れていなかったもので、私としては、検討案1のほうでいいのかと考えています。

委員 停留所の件ですが、北地区コミュニティセンターは、夏場はいいのですが冬場はすごく道幅が狭くなります。ですので、大型バスの転回のこととかを考えるとかなり厳しいと思います。

北地区コミュニティセンターの周囲の道路を回って国道側に向けて駐車をしなればいけないと思いますが、要は住宅街を通るルートになると思いますが、その住宅街も冬場になると乗用車同士のすれ違いが出来なくなるくらいの狭さになってしまいますので、除雪を含めた話をしっかり詰めていただかないと結局通れなくなってしまうのかなと思います。

また、先ほどのやり取りの中で回答が無かったので、改めて確認したいのですが、国道のバス停を停留所として使うことが可能なかどうか。それが出来るのであれば、空知太東地区の子どもたちのために、停留所を国道に1箇所設定できるのではないかと思います。

事務局 まずバスの停留所に関しては、バスは一般乗用車と違って大きいので、切り返し、転回を考えると、ある程度広い場所が必要になってくるため、そういったことも考えながら選定をしているところでございます。

その中でやはり豪雪地帯ですから、冬は雪もたくさん降りますし道路も狭くなります。そういうことも想定して、市として除雪をしっかりする必要があると思いますし、他の市町ですと、例えば冬場の道路除雪については、優先してバスの走行ルートを行うというような状況もありますので、そういったことについては、担当のほうと話をしていきたいと思います。それと、バスレーンの関係ですけども、近隣の市町を確認しますとバスレーンを使っている例はあまりありませんでした。そのため、バスレーンの使用に関する確認はしておりませんでしたので、バス会社に確認して、次回お示ししたいと思います。

会長 はい、ということで、基本的にはできるだけ公共の場として考えられていることになるかと思います。皆さん他に何か意見ありますか。

委員 先ほど雪の話が出たので、私も聞いていて、夏と冬の2つ案があったらご提示をお願いしたいということと、個人的な意見になりますが、豊沼のほうも場所によっては、除雪がなかなか行き届かない場所があって、その子のことを考えると遅刻する可能性があるのかなと思ひまして、距離は6 km以内ですが、可能であれば冬場だけでもバスを入れてほしいと思います。

天使幼稚園の園長さんもいますが、幼稚園バスの時間帯とかを本当に細かく設定しているなどと思ひまして、そのご意見等を踏まえて相談されたらスムーズに行くのかなと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

委員 幼稚園バスについては、基本的に冬にも通れる経路ということで、年間通して同じところを走れるような経路を設定しています。ですから、夏だと家の近くまで行くことができる場合でも、できるだけ年間を通して同じ場所で乗れるようにということで設定しています。

委員 バスと直接関係ありませんが、資料の作成方法として、名前等こそありませんが地図の部分で3年後を含めた生徒がどこに住んでいるか分布が分かるようなものとなっていて、取扱いには注意が必要だと思ひましたので、もう少し大まかな表現でもいいのかと思ひました。

事務局 毎回こういう形で資料を出していますが、ご意見ありましたとおり、この地図については、事務局としてもこの取り扱いはどうしようかと思慮している状況にあります。

会議資料は、この図面がなければ読み取りづらい部分もあろうかと思います。会議資料の市ホームページでの公開の際は、掲載しないという手法を取らせていただきたいと思います。

委員 現段階で、バスを3台使用するという考え方ですが、例えば、いろいろな経路を回るため7時に家を出なきゃいけない子がいますが、小型1台だけをそのような地域で対応することにより、7時45分くらいに家を出れば間に合うということも考えられますし、原案として家を出る時間の差がありすぎるところもあるのかなと思いますので、3台と固定せずに柔軟に考えていただけたらと思います。

委員 今の発言と同じことを私も思っています、富平の場合、タクシーで送迎ということもいいのかと思いますし、そのような対応をすることにより、大型バスをやめて中型バスにすることができれば、先ほど冬の除雪の問題がありましたが動きがいいのかなと思います。

あかね団地に住んでいますが、北地区コミュニティセンターの前は、本当に車一台やっと通れるくらいになります。私、町内会の役員もしていますが、ぜひ雪はねをきっちりやっていただくと大変ありがたいなと思います。

あと、距離の要件については、もう考えないという話があったのかどうかですが、アンケート結果を見ると、豊沼も冬だけでもいいのでバスを出してほしいという意見も出ています。そういう意見も含めてこの委員会としては、もう距離は考えなくていいと皆さん合意されるのか、それとも委員会としては、そういうことを付帯意見として諮問に答えるという形にするのか、どのように考えたらいいのでしょうか。

事務局 大型バスでは停留所が限られたり、切り返し、転回ができないなど、いろいろな問題が出てきますので、細かく中型を複数台用意するという考えも当然あると思います。ただ、ドライバーの確保などの問題も生じてきますので、そういった兼ね合いを見ながら今一度精査を進めさせていただきたいと思います。また、今回は統合によって登下校という部分で変化が起きるという石山中学校の子について、しっかり手当をしていくということを、まずもって整理するとしておりまして、そのほかは、現状が変わるというわけではありませんので、変化があるところに限定しての措置ということにさせていただいております。ただ、ご意見もありましたとおり、距離を定めてそれを基本とするという考えもあろうかと思えますので、今ほど委員さんからありましたとおり、そういう意見があれば、改めてそういう方向も踏まえて精査をしていきたいと思えます。

ただ、なかなか一長一短な部分もあり難しい部分もございます。今回この資料を提示させていただきましたが、いろいろな委員さんからそれぞれ意見がありましたので、少し手を加えて精査をし、改めて提示をさせていただきたいと思えます。

委員 スクールバスというのは、令和5年からの計画ですよ。例えば1年前倒しして1台を来年から買うということはないのでしょうか。子どもたちのことを考

えると、中体連が春から始まってきますが、今の中学1年生が3年生になったときに一緒に練習する子たちが、2年生のときには別々の学校で練習して3年生になってすぐに一緒になるというのは、不安があると思います。

ですから、来年からバスを買っていただいて順番に子どもたちを運んで一緒に練習する機会を与えてあげると、子どもたちの心配というのがものすごく減るのかなと思っています。

事務局 令和5年度から運行するバスについてですが、事務局としましては、令和5年4月から運行しますので、前年度に発注をかけて購入するという事で考えています。

そのため、バスの納車によると思いますが、バスが早めに納車されれば試行的に運行してみたいとは思っております。年度が変われば対象者も変わると思いますが、少し運行させてみてそのうえで問題があるようでしたら、そこを改善するような形が取ることができればと、検討しているところであります。

会長 はい、素晴らしいご意見ありがとうございます。意見出していただきましたが、最初に戻らせてください。検討案1に「距離による」という部分で豊沼区域が多分入ってくるだろうと思いますし、今回はあくまでも石山中学校のみということであれば豊沼地区は対象にはならないという形になります。皆さんこの辺に関してはどうですか。

委員 今回、中学校の統合という部分だけを考えれば検討案1でもいいと思います。検討案2に関していうと、小学校が全部統合した時に、例えば袋地から中央小学校に通っている現状が、袋地から砂川中学校に徒歩や自転車で通うのは大変かもしれない。

それから、経験として砂川市街地は全然吹雪いていないけれども、袋地地区や西豊沼地区から道路が寸断されて車出せませんという話を多々聞いております。

ですから、小学生のことを考えると、附帯意見でもいいですが、とりあえず今回は検討案1でいいとして、その後、検討案2をもう一度再検討すべきだと思います。

事務局 委員さんからもありましたとおり、全くその通りだと我々は思っております。今回は石山中学校と統合したら変わるという部分での支援ということで整理しておりますが、実際に小学校を統合するときは、他市町のように自宅から学校までの距離に基づいて整理していくのが一番公平性があって理解されるのではないかと考えております。ですので、今回中学校のバスということでご提示をさせていただいておりますけれども、改めて小学校が統合する際は再度ご議論いただきたいと考えております。

会長 はい、そのような押さえで皆さんよろしいでしょうか。ありがとうございます。次回になるかと思っておりますけども、この辺に関してまたお話をさせていただいたらと思います。皆さん本当にご意見を出していただきありがとうございます。それでは協議の2つめはこれで終了させていただきます。ありがとうございます。続いて、事務局から「その他」お願いします。

事務局 次回の日程についてですが、9月3日、金曜日になりますが、18時から同じ会

場、大会議室で開催したいと考えております。お諮りいただければと思います。

会長 皆さん、1か月後、9月3日、何か特に学校行事とかありますか。

(複数名の委員から、日程が厳しいという声上がる)

事務局 調整の上、改めてお示しさせていただければと思います。

会長 それでは、後日調整となりますが、9月初め頃には実施したいと思いますので、皆さん準備のほう、よろしく願いいたします。それでは第3回砂川市立小・中学校統合準備委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以 上